

令和3年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社）						
副教材等	最新図説 現社（浜島書店），改訂版 現代社会ノート（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 中学校社会科で学んだ知識・内容を基にして現代社会の諸問題や政治経済の仕組みについて学習します。
- ニュースや資料の背景を詳しく理解することを通して、現代社会における政治や経済に関わる営みや、現代社会が直面する問題について関心を持って学習できるようにします。
- 現代社会が抱える問題について学習した上で、それらの問題に私たち一人ひとりがどのような向き合うことができるか、多面的・多角的に思考し、その内容を表現する力の育成を目指します。

2 学習の到達目標

現代社会に生きる人間として必要な知識・教養，思考力・判断力を身につけ，広い視野に立って物事を探求する姿勢を身につける。また，現代社会における基本的な問題について主体的に考察し，公正に判断するとともに，自らの在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会における諸問題と私たちの生活現実に関するつながりを持たせることで関心を高め，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄を学んだ上で，その背景にある課題について考え議論させることを通して，他者の考えの理解等，多面的な考察力を養う。また，その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身につける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業への取り組み(発問評価) 課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査
上に示す観点に基づいて，学習のまとめりにごとに評価し，学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代社会の諸課題	①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活	○		○	○	a: 諸問題について, よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 b: 諸問題に関しての世界の取り組みや, 身近な取り組みについて考える。 c: 問題の原因や分布に関して資料から読み取る。 d: 現代社会の諸問題について理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
前期	現代社会と人間としてのあり方生き方	①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	○	○	○	○	a: 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか, 青年期の心理の特徴について理解し, 一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 b: 社会への参加について, 具体的事例をあげて多角的に考察する。 c: 現代の社会のつながりおよび青年期の心理の変化を資料から読み取る。 d: 青年期や社会の変化についての知識を得る。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
前期	個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	○	○	○	○	a: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高める。 b: 世界のおもな政治体制について, 真の民主政治の実現と関連させて考察する。 c: 基本的人権が保障されるにいたった経緯を, さまざまな情報手段で資料を収集する。 d: 国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査

前期	個人の尊重と法の支配	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 権利侵害に関する判例を取り上げることで関心を高める。 b: 日本国憲法が保障している権利や日本の統治機構が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かを様々な立場にたって考察する。 c: 日本国憲法の平和主義の特色と日本の安全保障の現況を事例を様々な資料から収集する。 d: 日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較, 天皇の地位の変化, 日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
前期	国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 民族問題や食糧問題をはじめ, 現代社会で起こっている様々な事象に興味関心を持つ。 b: 現代に生じる紛争や争いの背景を考察する。 c: 国際連合に代表される国際組織の仕組みや日本における国際的地位について図・資料から読み取る。 d: 近代国家成立以降の国際社会の結びつきについて理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
後期	現代の経済社会と私たちの生活	①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 景気変動や購買意欲, 日本の経済成長と直面する環境問題について横断的につながりを持つことで関心を高める b: 高度成長やバブルの要因を通して景気変動の仕組みについて考察する。また, 公害や社会保障の問題について議論を深める。 c: 現代社会の抱える経済および環境の問題についての時代別の資料を見ることで, 対応の変化などを読み取る。 d: 現代の日本経済の発展と直面する課題についての地域を得る。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査

後期	国際経済の動向と日本の役割	①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割		○	○	○	a: 貿易によって私たちの生活が成立していることに、具体的な事例を通じて関心を高める。 b: 自由貿易と保護貿易のメリットとデメリットについて考え、南北問題の原因などについて意見交換を行う。 c: 経済統合や貿易障壁の変遷について資料から読み取る。 d: 貿易の仕組みと国際経済における日本の役割について理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
後期	現代に生きる倫理	①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③近代の西洋思想 ④現代に生きる人間の倫理	○	○	○	○	a: 文化や宗教の違いについて取り上げられている事例を見ながら関心を高める。 b: 日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、具体的事例をあげて考察する。 c: 人間の尊厳や科学的なものの考え方、民主的社會を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため、図版や原典資料を適切に使用する。 d: 平等な社會の実現には、偏見を取りのぞき、主体的に努力することが求められていることを理解する。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査
後期	ととも生きる社会をめざして	ケーススタディ 人口問題と私たちの未来	○	○	○	○	a: 今後自分たちが生きる少子高齢化に伴う日本の将来について関心を持つ。 b: 少子高齢化に伴う社會の変化について意見交換を行う。 c: 人口動態と食料に関する資料を読み取る。 d: 人口動態の世界的な流れおよび日本の少子高齢化について学ぶ。	授業態度 授業発問 課題プリント 小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 資料活用の技能      d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。